

事例
1多機能付きレジスターの導入と
従業員のIT研修受講による業務効率化

【所在地】 福岡県

【従業員数】 1~4人

【事業の種類】 飲食業・販売業

【課題と対応】 収益拡大が課題であるため、業務の効率化、従業員のITスキル及び自信とモチベーションの向上、さらには収益基盤の強化により顧客増大を図ることで、収益拡大を目指していた。

従来、アルバイトの従業員がレジ作業や集計業務を行っていましたが、手計算による作業の効率が悪くなっていました。そこで、助成金を活用して集計レポート機能及び顧客管理機能付きレジスターの導入と従業員のIT研修を実施しました。

精算・管理業務を効率化するため、集計レポート機能及び顧客管理機能付きレジスターを導入し、集計・顧客管理機能を使いこなす従業員を育成したい



社長



- 顧客管理等にかかる作業時間の短縮と従業員のスキルアップにより、充実したサービス提供が可能となり、新規顧客の拡大及び業績向上につながった。
- レジ作業や集計業務にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給(最低賃金)を40円引き上げた。

助成金活用のポイント

多機能付きレジスターの導入とIT研修を実施したことで、業務の効率化と従業員の育成につながった。

(※平成27年度時点の制度に基づく事例)